

令和2年度 学校評価に関するアンケート集計結果(保護者用)

福島県立聴覚支援学校

A:十分できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

自立と社会参加に向けた指導の充実		A+Bが90%以上		C+Dが20%以上	
		A	B	C	D
1	学校は、教育的ニーズや合理的配慮を基に、目標について保護者やお子さんと共通理解を図り、個に応じて自立や社会参加に向けた学習指導を行っている。	47.3%	45.9%	6.8%	0.0%
2	学校は、中学部・高等部の学科や学習内容、また、高等部卒業後の進路に関する情報を提供し、お子さんの実態に応じて、将来の進路や職業について指導している。	45.2%	46.6%	4.1%	4.1%
3	学校は、交流及び共同学習を実施している。今年度、幼稚部ではひまわり保育園との交流会、小学部では大槻小学校との交流及び共同学習(クラブ活動)、中学部では片平中学校とのビデオレターでの交流(実施予定)や中体連新人戦への参加、高等部では部活動の大会等の参加による交流活動を行った。	32.3%	41.5%	21.5%	4.6%
4	寄宿舎は、自立に向けた生活習慣を身に付けるため、担任や家庭と連携し、お子さんの実態に応じた生活指導を行っている。 (中学部:基本的な生活スキルの獲得 高等部:一人暮らし体験など、自立と社会参加に向けた指導)【寄宿舎生のみ】	55.2%	41.4%	3.4%	0.0%
<b>主体的に思考する力と豊かな心の育成</b>					
5	学校は、子ども一人一人の言語力を高め、子どもが主体的に思考し、自ら学ぶ力を育むための授業を行っている。	45.2%	46.6%	8.2%	0.0%
6	学校は、「図書だより」を通して推薦図書を紹介したり、新刊図書や授業に関連のある図書を閲覧できるように図書館や図書コーナーの環境を整えたりするなど、読書活動を推進している。	35.7%	54.3%	10.0%	0.0%
7	学校は、奉仕体験やボランティア活動、係活動に積極的に取り組み、子ども達の豊かな心を育てている。(幼小小学部では自分でできることから学級や学部のための係活動や児童会活動、中高等部では生徒会活動やボランティア活動を設定している。)	34.7%	56.9%	8.3%	0.0%
8	学校は、食育を通じて心身の健やかな成長及び健康の保持増進について指導するとともに、感染症予防のための指導や対策をしている。	43.2%	50.0%	5.4%	1.4%
<b>一人一人の実態を踏まえた言語力の育成</b>					
9	学校は、聴覚障がい教育に関する研修を行い、教員の専門性向上に努めている。 (学校では、教員の専門性向上を目的とした基本研修会(年5回:補聴器や人工内耳等、福祉制度、ことばの学びについて等)、手話研修会(年4回)、ミニ研修会(年3回授業での配慮やスピーチバナナ・障がい者のためのサービスや支援)、指導力・授業力の向上を目的とした専門研修会(年2回:外部講師を招聘した授業研究等)などの研修を行っている。)	41.5%	49.2%	7.7%	1.5%
10	学校は、年4回の手話研修会や自立活動に関する研修会を行っている。	38.1%	49.2%	11.1%	1.6%
11	学校は、学部研修を行い、一人一人の実態や課題を共有し指導方法の改善に努めている。	41.2%	48.5%	10.3%	0.0%
<b>安全で安心な学校づくり</b>					
12	学校は、社会のルールやマナーを守り、自ら考えて行動する力を育てるための指導をしている。	43.7%	49.3%	7.0%	0.0%
13	お子さんは、楽しく学校に通っている。	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%
14	学校は、避難訓練や交通安全教室等とおして子どもたちが安全に生活するために指導するとともに、個人情報の管理を行っている。	47.9%	49.3%	7.0%	0.0%
15	寄宿舎は、子どもたちの健康の保持と安全の確保を行っている。(衛生指導(梅雨期の衛生・感染症の予防)、年4回の避難訓練、防犯指導など)【寄宿舎生のみ】	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
16	学校は、防災教育や放射線教育について取り組んでいる。	36.2%	53.6%	10.1%	0.0%
<b>センター的機能の充実</b>					
17	学校は関係機関と連携し、地域や保護者へ専門性を活かした支援を行っている。	35.2%	54.9%	9.9%	0.0%
18	学校は関係機関と連携し、基本研修会や保護者を対象としたまなびあいサロンなどの聴覚障がいに関する研修会を開催し、聴覚障がいや支援のための情報を地域に提供している。	36.2%	56.5%	7.2%	0.0%
19	学校は、おたよりやホームページで学校の取り組み状況を知らせている。	43.7%	49.3%	7.0%	0.0%

<学校評価アンケートより～来年度に向けて>

- ◎ 交流及び共同学習に関する項目の評価が低い傾向にあります。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴い、各学部共に交流及び共同学習については予定を一部変更しながら取り組みました。今後も、従来の直接交流のみならず間接交流を工夫していき、これまで築き上げている交流校との連携のもと活動を進めていきます。
- ◎ 読書活動については、各学部共通して低い評価の傾向が見られます。今後も各学部において図書館の利用や図書紹介、掲示物の工夫など環境づくりに努めていきます。ご家庭において身近な物(新聞や雑誌等)を通してやりとりすることも、書かれていることへ関心を引き出すきっかけになると考えます。

<保護者からの意見要望に関して>

- ◎ 校舎のカーテン破損のご指摘及び学習環境についての意見がありました。カーテンの修繕につきましては、教職員が協力と工夫し可能な範囲で対応しています。床の修繕につきましては、予算が限られている中で対応しております。
- ◎ 学校運営についてPTA役員、会員の意見をよく聞いてほしいという要望がありました。学校運営につきましては、法令や県教育委員会等からの通知などにより、適切な運営に努めております。今後とも情報の提供を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、具体的な意見につきましては、特別支援学校PTA連合会による要望活動もありますことから、保護者の皆様を中心となり、とりまとめいただきますようお願いいたします。
- ◎ 保護者を対象にした研修「まなびあいサロン」の実施時間帯への要望がありました。当日の参加が難しい保護者の皆様への情報提供につきましては、検討を進めておりますので、地域支援センターに出席の意向を示していただきますようお願いいたします。